

Letter No. 31

雪崩分科会レター



スイス・ダボスの山に設置されている雪崩防止柵。
2003年6月、小杉健二氏撮影。

2003年9月19日発行

(社) 日本雪氷学会 雪崩分科会

目 次

	頁
雪崩分科会例会のご案内	2
分科会費納入のお願い	3
2002年度事業報告	4
2003年度事業計画(案)	4
2002年度会計報告	5
2003年度予算案	5
第13回雪崩対策の基礎技術研修会報告 飯田 肇	6
第14回雪崩対策の基礎技術研修会開催のお知らせ	7
荘田幹夫記念シンポジウム—没後30年にあたり—のご案内	8
〔ミニ企画展〕雪崩博士 荘田幹夫展のご案内	9
雪崩分科会役員・雪崩分科会事務局	10

雪崩分科会のホームページができました。下記のURLでご覧になれます。

http://www.argos-net.co.jp/nadare_bunkakai/

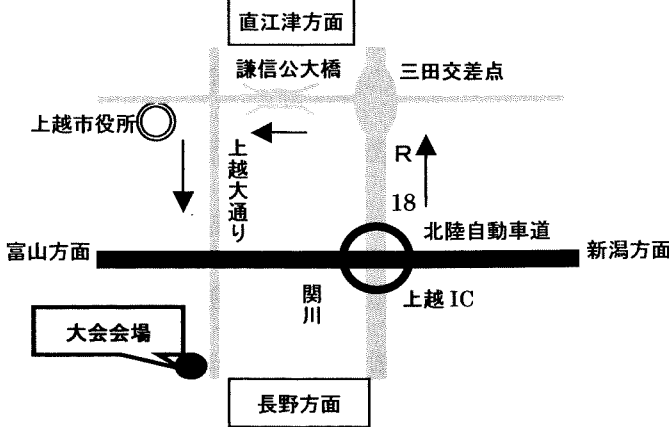
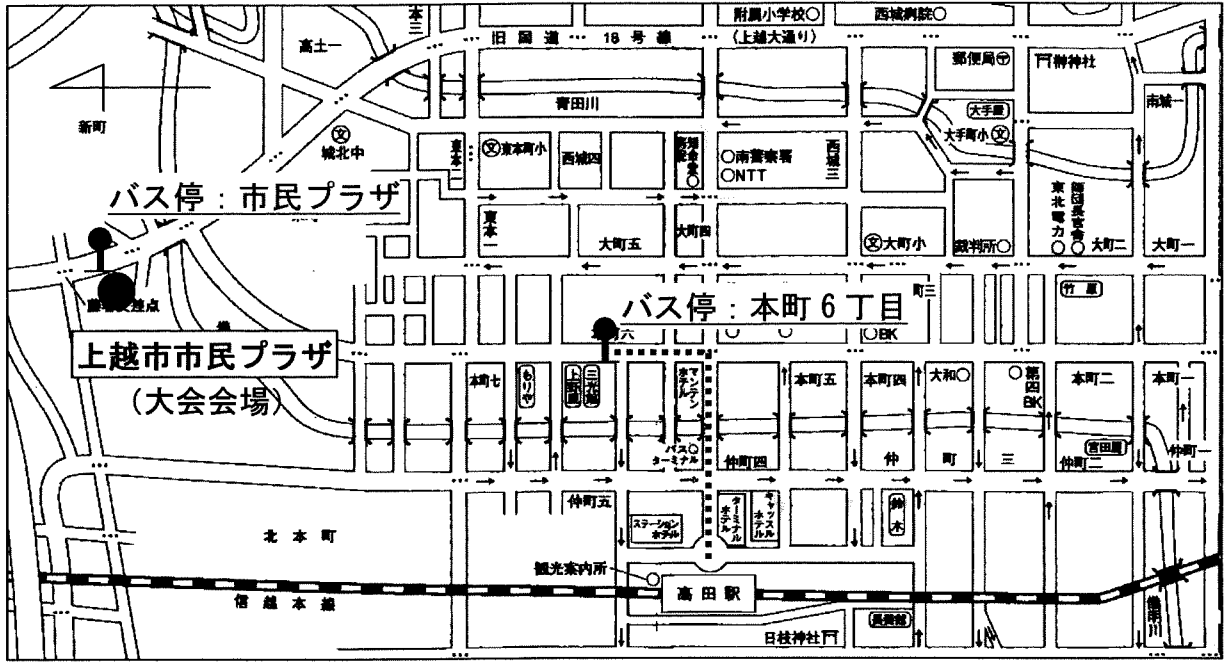
■雪崩分科会例会のご案内

10月の日本雪氷学会全国大会（上越大会）の会期中に、下記のとおり雪崩分科会例会（総会，話題提供「2002/2003年冬期の雪崩災害と上中越の雪崩対策」）を開催致しますので、ご出席下さいますようお願い申し上げます。雪崩分科会会員以外の方のご参加も大歓迎です。10月6～7日に塩沢において開催される荘田幹夫記念シンポジウム（本レターにご案内記事があります）にご参加の皆様も、10月7日の見学会の後ご参集下さい。

記

1. 日時 2003年10月7日（水） 17:00～19:00
2. 会場 上越市市民プラザ2F第4会議室（全国大会会場と同じ）
3. 総会（17:00～17:30）
 - ・2002年度事業報告
 - ・2002年度会計報告
 - ・2003年度事業計画案
 - ・2003年度予算案
 - ・その他
4. 話題提供「2002/2003年冬期の雪崩災害と上中越の雪崩対策」（17:30～19:00）
 - ・2003年乗鞍スーパー林道の雪崩災害について
信州大学農学部附属演習林 新田 隆三 氏
防災科学技術研究所 長岡雪氷防災研究所 （未定）
 - ・新潟県上中越地域の雪崩対策
土木研究所 新潟試験所 秋山 一弥 氏
5. 懇親会（19:00～）
場所：養老乃瀧上越店（上越市市民プラザ横）
電話：025-526-9793

会場案内図



- 上越市市民プラザ（大会会場）までのアクセス
- 高田駅より（約3km）
- タクシー 約10分（1100円程度）
- バス 約10分（片道180円）
- 直江津駅より（約5km）
- タクシー 約20分（2100円程度）
- バス 約15分（片道320円）
- 上越ICより（約10分）
- 直江津方面 三田IC左折
- 上越市役所前交差点左折

分科会費納入のお願い

今年度の雪崩分科会費を郵便振替で納入願います。金額は年額1,000円です。お手数ですが、同封の払込票に必要事項をご記入の上、郵便局で手続き願います。ご氏名と何年度分の会費かを必ずお書き下さい。貴会員の会費納入状況は、添付の表(短冊状の紙)の様になっています。前年度までの会費に未納のある方は、あわせて納入願います。口座番号等は以下の通りです。

口座番号：00670-0-26949、口座名称：日本雪氷学会雪崩分科会

ご不明な点がございましたら、会計担当幹事（小杉健二氏）までお問い合わせ下さい。

連絡先 XXXXXXXXXX
 防災科学技術研究所 長岡雪氷防災研究所 新庄支所 小杉健二

■2002 年度事業報告

1. 総会・研究会の開催

日 時：2002 年 10 月 10 日

場 所：山形テルサ

講 演：4 件

参加者：50 名

2. 第 8 回山岳スキー場雪崩安全セミナーの開催

日 時：2002 年 12 月 8 日

場 所：兵庫県西宮市

講 演：6 件

参加者：60 名

3. 第 13 回雪崩対策の基礎技術研修会（雪氷学会主催）開催協力

日 時：2003 年 1 月 22～24 日

場 所：富山県立山町

参加者：28 名

4. ニュースレター発行 (No. 29, 30)

5. 分科会会員研究協力

海外での学会等参加費助成金：1 件 (ISSW2002)

■2003 年度事業計画（案）

1. 総会・研究会の開催（雪氷学会全国大会時）

2. ニュースレター発行（2回）

3. 第 9 回山岳スキー場雪崩安全セミナーの開催

4. 第 14 回雪崩対策の基礎技術研修会の開催協力

5. その他研修会の開催協力

6. 分科会会員研究協力

7. その他

阿部 修	氏名
○	2001年(H13)
	2002年(H14)
	2003年(H15)

○：納入済、●：一部納入済、印無し：未納入

■2002年度会計報告

2002.4.1～2003.3.31

	費目	2002年度実績
収入	繰り越し	760,639
	分科会費	127,500
	第13回雪崩対策の基礎技術研修会収支差額等	180,023
	利息	85
	寄付	500,000
	計	1,568,247

	費目	2002年度実績
支出	第8回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナー	164,000
	講演・談話会	13,420
	レター印刷費・送料等	36,845
	企画研究補助金	50,000
	旅費	81,640
	通信費	3,340
	支払い手数料	1,600
	計	350,845

収支差額(次年度へ繰り越し)

1,217,402

■2003年度予算案

2003.4.1～2004.3.31

	費目	2003年度予算案
収入	繰り越し	1,217,402
	分科会費	65,000
	第9回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナー収入	170,000
	第14回雪崩対策の基礎技術研修会収支差額等	50,000
	利息	1,000
	計	1,503,402

	費目	2003年度予算案
支出	第9回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナー支出	220,000
	レター印刷費・送料等	70,000
	企画研究補助金	50,000
	旅費	25,000
	通信費、文具・消耗品費	5,000
	会議費	20,000
	雑費	5,000
	計	395,000

収支差額(次年度へ繰り越し)

1,108,402

第13回雪崩対策の基礎技術研修会報告

立山カルデラ砂防博物館 飯田 肇

第13回雪崩対策の基礎技術研修会が、富山県立山山麓で開催された。富山県内では初めての雪崩研修会となった。島根県、秋田県をはじめ全国から28名の受講者が参加し、雪崩の基礎から対策・雪崩捜索救助法までの最新の技術・知識について3日間にわたりじっくりと研修した。特に、1月23日、24日の野外研修では、積雪の観測方法、雪崩弱層の検知テスト、雪崩ビーコンやゾンデ棒、スコップを使用しての埋雪者救出方法の実習が行われ、吹雪にも関わらず熱心に実習と質疑が交わされた。研修終了後、一人一人に修了証が授与され、雪崩事故を減らすため今後も研修を重ねていくことを誓いあった。

- ◆期間：平成15年1月22日（水）～24日（金）
- ◆主催：（社）日本雪氷学会 共催：立山カルデラ砂防博物館
- ◆内容

1月22日	◎室内研修（立山カルデラ砂防博物館） ・降積雪の基礎知識、雪崩の発生と予測 ・斜面積雪の静力学と雪崩の動力学 ・雪崩映像の投影	和泉 薫 川田邦夫
23日	◎室内研修（立山カルデラ砂防博物館） ・雪崩危険斜面の判定・雪崩管理の実態 ・雪崩対策の種類と計画 ・雪崩対策の調査・設計 ・雪崩予測のための積雪の見方 ◎現地研修（立山カルデラ砂防博物館周辺） ・積雪観測法実習 飯田 肇、川田邦夫、和泉 薫 ・雪崩対策施設見学 町田 誠、上石 勲 ◎室内研修（立山カルデラ砂防博物館） ・雪崩埋雪者の捜索救助	町田 誠 武士俊也 上石 勲 飯田 肇 中山建生
24日	◎現地研修（極楽坂スキー場） ・雪崩埋雪者の捜索救助法実習(雪崩ビーコン、ゾンデ等) 中山建生、干場 晃、池田慎二 ◎修了試験、閉校式、修了証授与	



雪底の危険について学ぶ



雪崩埋没者捜索の実習

第14回雪崩対策の基礎技術研修会開催のお知らせ

第14回雪崩対策の基礎技術研修会を下記の要領で実施いたします。詳細については後日パンフレット、雪崩分科会ホームページ等をご覧ください。

記

- (1) 開催期日：2004年（平成16年）1月22日（木）～23日（金）
- (2) 会場：湯沢カルチャーセンター（新潟県南魚沼郡湯沢町）＋周辺山地
新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立628-1 TEL 0257-84-1511
- (3) 主催：社団法人日本雪氷学会
- (4) 会費：3万円程度（現地見学バス、テキスト代含）
- (5) 研修内容
 - 1/22（木） 室内講義，現地研修
降積雪と雪崩の基礎知識，積雪観測法，雪崩埋雪者の捜索救助
積雪観測法実習，雪崩捜索・救助法実習
 - 1/23（金） 室内講義，現地研修
雪崩危険斜面の判定・雪崩管理の実態，雪崩対策工の計画・設計，
雪崩対策工の現地検討

*講師は雪崩分科会から主に派遣する予定です。
- (6) 連絡・問い合わせ先
第14回雪崩対策の基礎技術研修会 事務局
町田建設株式会社

莊田幹夫記念シンポジウム —没後 30 年にあたり—のご案内

趣旨：2003 年は莊田幹夫没後 30 年を数えようとしている。この 30 年間雪対策技術は著しい進展を遂げた。また雪事情も大きく変化した。その中でも北陸地方の雪対策の先駆をなした莊田幹夫の業績は今でも輝いている。また莊田幹夫の人柄も魚沼の地では今でも語り継がれている。折しも新潟県上越市で 2003 年度日本雪氷学会全国大会が開催されようとしている。また塩沢町の鈴木牧之記念館では 10 月 7 日～11 月 24 日に「雪崩博士—莊田幹夫展—」と題する企画展が計画されている。この時にあつて、莊田幹夫の業績を振り返り、雪対策の将来を見据えるためにこのシンポジウムを開催する。シンポジウムは実行委員会の企画によって、招待された講師陣による講演を主体とし、学会、技術者、塩沢町とその周辺の人々に広く参加を呼びかける。また莊田幹夫の人柄を語り合う会、莊田幹夫ゆかりの見学会も企画する。

主催：莊田幹夫記念シンポジウム実行委員会（委員長 新田隆三 委員は会員有志）

共催：日本雪氷学会、鉄道総合技術技術研、長岡雪氷防災研究所、長岡国道事務所、塩沢町

後援：社団法人北陸建設弘済会

日時：2003 年 10 月 6 日（月） 13：00～19：30 シンポジウム、語り合う会

10 月 7 日（火）国道 17 号沿線、莊田幹夫ゆかりの地見学会

会場：新潟県南魚沼郡塩沢町塩沢 608-1 塩沢町公民館 Tel.025-782-0100

日程とプログラム

10 月 6 日（月）シンポジウム(13：00～16：45)参加費無料

第一部 莊田幹夫の業績とその今日への意義

莊田先生の業績を振り返る	柏村良一
莊田先生の業績とこれからの雪・雪崩対策の方向	井上元哉
莊田先生と共に仕事をして	中島 洋
莊田雪崩学がもたらしたもの	新田隆三

第二部 北陸の雪対策研究の今日

莊田先生とその後の道路の雪対策	和田 惇
雪崩予知に関するわが国の研究	遠藤八十一
雪中爆破による人工雪崩技術の検討	町田 誠
塩沢雪実験所で行われた最近の雪害研究	河島克久

第三部 語り合う会「角瓶を囲んで」（別会場 17：30～19：30 参加費 4,000 円）

莊田先生の人柄を偲び思い出を語り合う。

10 月 7 日（火）見学会(マイクロバスにて移動、参加費 3,000 円)

8：45 塩沢公民館出発—鉄道総研塩沢雪実験所—雲洞庵（莊田先生の墓所）—鈴木牧之記念館*—国土交通省湯沢維持出張所—国道 17 号線雪対策施設—越後湯沢駅 12：00 解散

*鈴木牧之記念館では企画展「雪崩博士 —莊田幹夫展—」見学

お問い合わせ先及び参加申込

長岡技術科学大学 環境建設系 早川典生

Tel. 0258-47-9664 Fax. 0258-47-9610

〔ミニ企画展〕雪崩博士 荘田幹夫展のご案内

【期 間】 2003年10月7日（火）～11月24日（月）
休館日／毎週月曜日（但し、祝日の場合はその翌日）

【主催・場所】 鈴木牧之記念館

新潟県南魚沼郡塩沢町大字塩沢1112-2

【内 容】 日本有数の豪雪地、新潟県塩沢で雪の研究に没頭した荘田幹夫（しょうだみきお）博士の活動を取上げます。荘田博士と塩沢との出会い、荘田博士の研究（電線道の雪害対策研究、人工雪崩実験）、荘田博士の師である中谷宇吉郎博士との関係などについてパネルを中心に紹介します。

【付帯事業①】 記念講演会

テーマ■雪崩研究の歩み

—荘田博士の業績から最前線まで—

講 師■西村 浩一 氏

（防災科学技術研究所 長岡雪氷防災研究所 主任研究員）

日 時■2003年10月19日（日） 午後3時～（1時間半程度）

会 場■鈴木牧之記念館特設会場 ※開場：午後2時半～

入場料■講演会は無料

※ 記念館は当日2時まで開館し、その後は講演会のため閉館します。

【付帯事業②】 ミニミニ企画

企画名■荘田フィルムから50年前のしおざわ

内 容■荘田博士が写した当時の塩沢の写真を公開します。

期 間■本展と同時開催

■雪崩分科会役員

雪崩分科会役員

会 長	遠藤八十一	(元森林総合研究所十日町試験地)
副会長	西村浩一	(独立行政法人防災科学技術研究所 長岡雪氷防災研究所)
副会長	和泉 薫	(新潟大学積雪地域災害研究センター)
監 事	川田邦夫	(富山大学極東地域研究センター)
幹事長	上石 勲	(株式会社アルゴス・雪氷技術センター)
幹 事 (企画)	秋山一弥	(独立行政法人土木研究所新潟試験所)
幹 事 (企画)	飯田 肇	(立山カルデラ砂防博物館)
幹 事 (編集)	尾関俊浩	(北海道教育大学岩見沢校)
幹 事 (編集)	河島克久	(財団法人鉄道総合技術研究所防災技術研究部)
幹 事 (会計)	小杉健二	(独立行政法人防災科学技術研究所 長岡雪氷防災研究所新庄支所)
幹 事 (編集)	竹内由香里	(森林総合研究所十日町試験地)
幹 事 (企画)	中山建生	(勤労者山岳連盟)
幹 事 (企画)	町田 誠	(町田建設株式会社)
顧 問	新田隆三	(信州大学農学部)

雪崩分科会ホームページ http://www.argos-net.co.jp/nadare_bunkakai/

雪崩分科会事務局 : 
(株)アルゴス・雪氷技術センター 上石 勲

編 集 担 当 : 
(財)鉄道総合技術研究所・防災技術研究部 河島克久